

参加無料

オンライン

気候変動でどう変わる？ 大阪の森・里・川・海の生物多様性

近年、地球規模での気温の上昇や豪雨の増加など、気候変動による様々な変化が進行しています。その結果、野生の動植物や農林水産業への影響が世界各地で生じ始めています。また、洪水や土砂災害、熱中症リスクの増加など、私たちの暮らしも脅かされつつあります。気候変動は、大阪の生物多様性にも影響するのでしょうか？今回の談話会では、大阪の森・里・川・海に焦点をあて、それぞれで明らかになっている影響や、今後予測される変化について紹介します。私たちの生活に欠かせない生物多様性が気候変動でどう変わりうるのかを考えるきっかけにしてみませんか。

日時 2021年3月28日（日）13:30～16:30

開催方法 オンライン（Zoomウェビナーで開催予定 詳細は裏面参照）

※オンライン参加が困難な方は、生物多様性センター研修室での参加も可能です。
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地参加は最大30名に限定します。）

話題提供（講演順）

森 幸田 良介 大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター主任研究員
「大阪に遺された冷温帯林 和泉葛城山ブナ林の変化と将来像」

里 石井 実 大阪府立大学名誉教授・大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長
「気候変動で変わる大阪のチョウ相」

川 上原 一彦 大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター長
「温暖化で絶滅も・・・天然記念物の淡水魚イタセンパラ」

海 鍋島 靖信 大阪市立自然史博物館 外来研究員・友の会会長
（元 大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センター主任研究員）
「温暖化による大阪湾の漁業と海洋生物への影響」

申込締切 当日まで申込可能（現地参加の場合は3月24日必着）

※オンライン参加は定員85名、現地参加は定員30名（先着順）
定員になり次第締切（申込方法は裏面参照）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況などを踏まえ、開催方法を変更する場合があります。その場合は、3月26日（金）までに生物多様性センターHP「<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/biodiv/>」に、変更内容を掲載いたします。個別のご連絡はいたしませんのでご了承ください。

